

3 道計画の具体的目標に応じた圏域における主な取組と役割分担

(1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

ア がん

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎がんの死亡率の減少を目指します。 ◎がん検診による早期発見・早期治療を進めます。	①発症予防・重症化予防	・ワクチン接種等の実施によるウイルス感染予防（町）		◎		○		
		・がん予防及びがん検診の効果に関する正しい知識の普及（保健所、町）	◎	◎	○	○		
		・喫煙の健康影響に関する情報提供及び禁煙支援（保健所、町）	◎	◎	○	○	○	
		・受動喫煙防止対策の推進（保健所、町、職域）	◎	◎	○	○	◎	
		・バランスのとれた食生活についての普及啓発（保健所、町、医療機関、団体）	◎	◎	○	◎	○	◎
		・がん検診受診促進の普及啓発及び実施体制の整備（町）	○	◎		○	○	
		・早期発見のための各種検査及び助成事業（町）		◎		○	○	
		・未受診者及び受診中断者に対する受診勧奨（町）		◎				
	②がん医療の推進	・骨髄バンク登録（団体）	○	○		○		◎
	③がん患者等への支援の充実	・ピアサポート事業（医療機関）	○			◎		

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
75歳未満のがんの年齢調整死亡率（10万人当たり）	男性 120.4 女性 67.0	男性 108.5 女性 66.4	全国平均値以下（H35） （目標値を更新）
成人の喫煙率	24.8%	24.7% 男性 34.6% 女性 16.1%	12.0%以下
がん検診の受診率（40歳以上）			
ア 胃がん検診	26.8%	35.0%	50.0%以上（H35） （目標値を更新）
イ 肺がん検診	18.7%	36.4%	
ウ 大腸がん検診	21.5%	34.1%	
エ 子宮頸がん検診（20歳以上）	30.0%	33.3%	
オ 乳がん検診	28.0%	31.2%	

イ 循環器疾患

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎循環器疾患の死亡者の減少を目指します。 ◎循環器疾患を予防するため、危険因子となる高血圧の改善や脂質異常症を減らします。 ◎特定健康診査及び特定保健指導による疾病の早期発見、早期治療を進めます。	①発症予防・重症化予防	・循環器疾患の原因となる高血圧、脂質異常症、メタボリックシンドロームの予防対策及び正しい知識の普及（保健所、町、医療機関）	◎	◎		◎	○	○
		・適正飲酒についての普及啓発（保健所、町、医療機関）＊	◎	◎		◎	○	○
		・バランスのとれた食生活についての普及啓発（保健所、町、医療機関、団体）＊	◎	◎	○	◎	○	◎
		・喫煙の健康影響に関する情報提供及び禁煙支援（保健所、町）＊	◎	◎	○	○	○	
		・ライフワークに応じた運動の推進（保健所、町、団体）	◎	◎				◎
		・各団体の育成及び支援（町、団体）	○	◎				◎
		・血圧管理の重要性についての普及啓発（町）	○	◎		○		
		・特定健康診査及び特定保健指導の受診率向上のための体制整備（町）		◎		○	○	
		・特定健診未受診者への受診勧奨（町）		◎				
		・各種健康診査（後期高齢者、生活保護受給者等）（町）		◎		○	○	
	②連携体制の充実	・連携バスの普及（保健所）	◎					
		・地域・職域連携推進連絡会（保健所）	◎	○			○	
		・南檜山医療・介護連携推進会議（保健所）	◎	○		○		○

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
脳血管疾患の年齢調整死亡率（10万人当たり）	脳血管疾患 男性 47.1 女性 25.2	脳血管疾患 男性 34.7 女性 21.0	脳血管疾患 男性 32.0%以下 女性 20.1%以下
急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（10万人当たり）	急性心筋梗塞 男性 21.5 女性 9.2	急性心筋梗塞 男性 14.5 女性 5.5	急性心筋梗塞 男性 13.5以下 女性 5.2以下 （目標値を更新）
高血圧の改善（40～89歳） （収縮期血圧の平均値）	男性 138mmHg 女性 134mmHg	男性 136mmHg 女性 130mmHg	男性 134mmHg以下 女性 128mmHg以下 （女性目標値を更新）
高血圧症有病者の割合（40～74歳） （収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上、降圧剤服薬者）	男性 47.0% 女性 37.7%	男性 58.6% 女性 42.1%	男性 40.0%以下 女性 30.5%以下
正常高値血圧者の割合（40～74歳） （収縮期130mmHg以上140mmHg未満または拡張期85mmHg以上90mmHg未満の者で降圧剤服薬者を除く）	男性 23.4% 女性 21.4%	男性 22.8% 女性 18.3%	男性 16.4%以下 女性 14.2%以下
脂質異常症の者の割合（40～79歳）			
ア 総コレステロール240mg/dl以上の者の割合	男性 13.5% 女性 24.0%	男性 9.7% 女性 21.0%	男性 10.0%以下 女性 18.0%以下
イ LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合	男性 9.6% 女性 12.6%	男性 5.7% 女性 9.2%	男性 7.2%以下 女性 9.5%以下
特定保健指導対象者の割合の減少率 （メタボリックシンドローム該当者及び予備群） （40～74歳）	該当者 14.6% 予備群 12.9% （H20数値）	該当者 15.3% 予備群 12.1%	H20年度に比較し 25.0%減（H35）
特定健康診査の実施率（40～74歳）	32.6%	39.3%	70.0%以上（H35） （目標値を更新）
特定保健指導の実施率（40～74歳）	12.0%	13.5%	45.0%以上（H35）

ウ 糖尿病

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
<p>◎生活習慣の改善の重要性について普及啓発を進め、糖尿病が強く疑われる者の増加抑制を目指します。</p> <p>◎特定健康診査及び特定保健指導による早期発見、早期治療を進めます。</p> <p>◎重症化予防のため、「治療継続による血糖値の適正な管理」の重要性についての意識を高めます。</p>	①発症予防・重症化予防	・糖尿病予防に関する正しい知識の普及（保健所、町、医療機関）	◎	◎		◎	○	○
		・バランスのとれた食生活についての普及啓発（保健所、町、医療機関、団体）＊	◎	◎	○	◎	○	◎
		・ライフワークに応じた運動の推進（保健所、町、団体）＊	◎	◎				◎
		・喫煙の健康影響に関する情報提供及び禁煙支援（保健所、町）＊	◎	◎	○	○	○	
		・各団体の育成及び支援（町、団体）＊	○	◎				◎
		・特定健康診査及び特定保健指導の受診率向上のための体制整備（町）＊		◎		○	○	
		・特定健診未受診者への受診勧奨（町）＊		◎		○	○	
		・各種健康診査（後期高齢者、生活保護受給者等）（町）＊		◎		○		
		・糖尿病の疾患リスク、治療継続の必要性についての普及啓発（保健所、町、医療機関）	◎	◎		◎	○	○
	②連携体制の充実	・糖尿病連携手帳の普及啓発（保健所）	◎	○		○		
		・南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトの推進（保健所）	◎	○		○		
		・特定健診・保健指導及び糖尿病に関する情報提供（保健所、町）	◎	◎		○		
		・人材育成等に係る研修会（保健所）	◎	○				

*再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	830人	688人	660人以下 （目標値を更新）
糖尿病治療継続者の割合（20歳以上）	59.6%	59.8%	64.0%以上
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合 （HbA1cが8.4%以上の者） （40～74歳）	1.09%	0.92%	0.8%以下 （目標値を更新）
糖尿病が強く疑われる者の割合 HbA1cがNGSP値6.5%以上または現在治療中の者（40～74歳）	男性 14.8% 女性 7.1%	男性 12.9% 女性 8.4%	男性 19.7%以下 女性 9.0%以下 （増加率を半減）
特定保健指導対象者の割合の減少率 （メタボリックシンドローム該当者及び予備群）（40～74歳）	該当者 14.6% 予備群 12.9% （H20数値）	該当者 15.3% 予備群 12.1%	H20年度に比較し 25.0%減 （H35）
特定健康診査の実施率（40～74歳）	32.6%	39.3%	70.0%以上 （H35） （目標値を更新）
特定保健指導の実施率（40～74歳）	12.0%	13.5%	45.0%以上 （H35）

エ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎COPDという疾患の道民の認知を高めます。	①発症予防	・ホームページの「たばこ対策」のページで、COPDについて記載し、知識の普及に努める。（保健所）	◎	○		○		
		・喫煙の健康影響に関する情報提供及び禁煙支援（保健所、町）＊	◎	◎	○	○	○	

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
COPDの認知度	なし	25.4%	80.0%以上
（再掲）成人の喫煙率	24.8%	24.7% 男性 34.6% 女性 16.1%	12.0%以下

(2) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

ア こころの健康

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎精神保健相談などを通じ、ストレス要因の軽減や対応を適切に行い、こころの健康の保持・増進を図ります。	①精神保健福祉の相談及び支援	・こころの健康に関する相談窓口の充実（保健所、町）	◎	◎		○		
		・ストレスやうつ病、健康的な生活習慣に関する普及啓発（保健所、町）	◎	◎		○		○
		・思春期ネットワーク研修（保健所）	◎	○	○	○		
	②職場のメンタルヘルス対策	・職場における相談や研修、職場復帰支援のための取組の促進（保健所、町）	◎	◎			○	
		・地域・職域連携推進連絡会（保健所）＊	◎	○			○	○
	③自殺対策	・各町における自殺対策の取組に対する技術的支援（保健所）	◎					
		・保健・医療・福祉関係者や教職員等、様々な分野におけるゲートキーパーの養成（町）	○	◎	○	○	○	
	④連携体制の充実	・自殺対策連絡会議（保健所）	◎	○	○	○	○	○
		・思春期ネットワーク会議（保健所）	◎	○	○	○		
		・地域移行連絡協議会（団体）	○	○		○	○	◎
		・高次脳機能障がいネットワーク会議（保健所）	◎	○		○		○
		・認知症の人と家族を支える南檜山地域SOSネットワーク会議（保健所）	◎	○		○	○	○

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
自殺者数（人口10万人当たり）	25.4	17.5 (H28)	12.1以下 (H39) (目標値を更新)
気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合（20歳以上）	8.2%	9.8%	7.4%以下
メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合	100人以上 91.2%	【参考】＊ 50人以上 80.7%	100% (H32)
小児科医・精神科医・心療内科医数の割合（小児人口10万人当たり）	201.1	3科合計 221.7	増加

＊ 労働安全衛生法の改正により当面50人以上の事業所に、ストレスチェックの実施が事務付けられたことによる人数の変更

イ 次世代の健康

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎適正な食習慣や運動習慣を有する子どもの割合を増やします。	①子どもの健康づくりの推進	・食に対する知識と望ましい食習慣の育成の推進（町、教育）	○	◎	◎		○	○
		・体力、運動能力の向上の取組の促進（教育）			◎			
◎妊娠前・妊娠期における適正体重の維持や喫煙、飲酒習慣の改善を進めます。	②新たな命を育む安全な環境の推進	・妊娠婦や女性に対するバランスのとれた食事についての普及啓発（保健所、町）	◎	◎				
		・妊娠婦や女性に対する喫煙、飲酒が及ぼす健康影響への普及啓発（保健所、町）	◎	◎	○			
		・栄養成分表示活用の普及啓発（保健所）	◎	○				

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定値	現状値	目標値
健康な生活習慣（栄養・食生活、運動）を有する子どもの割合			
ア 朝食を摂取する児童の割合（小学6年生）	85.9%	84.9%	すべての児童が朝食を食べることをめざす
イ 「体育の授業以外で1週間に運動・スポーツの総運動時間が60分以上」と答えた児童の割合	男子 88.9% 女子 78.9%	【参考】＊ 男子 93.1% 女子 88.5%	100%
適正体重の子どもの割合 全出生数中の低出生体重児の割合	9.8%	9.2%	減少
妊婦の喫煙率	10.1%	6.3%	0%
産婦の喫煙率	13.2%	8.4%	0%
妊婦の飲酒率	4.7%	1.4%	0%

＊ 調査方法の変更による参考値

ウ 高齢者の健康

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎高齢者の健康づくりを進めます。	①高齢者の健康づくりの推進	・バランスのとれた食生活についての普及啓発（保健所、町、医療機関、団体）＊	◎	◎	○	◎	○	◎
		・ウォーキング及びノルディックウォーキングの普及啓発（保健所、町、団体）	◎	◎				◎
		・ロコモティブシンドロームの普及啓発（保健所、町）	◎	◎		○		
		・介護予防事業の推進（町）	○	◎	○		○	
		・各種健康診査（後期高齢者、生活保護受給者等）（町）＊		◎		○		
		・口腔機能維持向上のための普及啓発（保健所、町）	◎	◎		○		
		・かかりつけ歯科医における定期的歯科健診と機械的歯面清掃等プロフェッショナルケア（団体）						◎
	②人材育成の推進	・介護予防従事者研修会（保健所）	◎	○				
		・行政栄養士、在宅栄養士などを対象とした研修会（保健所）	◎	○				
		・特定給食施設等栄養管理担当者研修会（保健所）	◎					
	③連携体制の充実	・南檜山医療・介護連携推進会議（保健所）	◎	○		○		○

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
適正体重を維持している者			
ア 65歳以上の肥満の割合（BMI25以上）	男性 38.1% 女性 37.3%	男性 38.4% 女性 32.5%	減少 （目標値を追加）
イ 65歳以上のやせ傾向の割合（BMI20以下）	— —	男性 10.8% 女性 14.9%	
65歳以上の日常生活における歩数	男性 5,968歩 女性 4,799歩	男性 5,395歩 女性 4,915歩	男性 7,000歩以上 女性 6,000歩以上
口腔機能の維持・向上 60歳代における咀嚼良好者の割合	83.4%	【参考】＊ 66.8%	80%以上 （目標値を更新）

＊調査方法の変更による参考値

(3) 健康を支え、守るための社会環境の整備

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎「北海道健康づくり協働宣言団体」の登録の増加を図ります。	①環境整備の推進	・自主的に健康づくりの活動を行う団体の増加及び環境整備の推進（保健所）	◎					

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
健康づくりに関する普及啓発や相談など道民の健康づくりを支える「北海道健康づくり協働宣言」団体の登録数	45団体	56団体	増加

(4) 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、喫煙、飲酒及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

ア 栄養・食生活

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎適正な栄養摂取を進め、肥満や若年女性の「やせ」を減らします。 ◎道民が栄養バランスのとれた食生活を実践できるよう食環境の整備を推進します。	①適正な栄養摂取の推進	・バランスのとれた食生活についての普及啓発（保健所、町、医療機関、団体）＊	◎	◎	○	◎	○	◎
		・栄養成分表示活用に向けた普及啓発（保健所）＊	◎	○				
		・適正体重に関する普及啓発（保健所、町）	◎	◎	○	○	○	○
	②食環境の整備	・栄養成分表示の店（ヘルシーレストラン）の登録推進（保健所）	◎					
		・特定給食施設等への指導及び研修会（保健所）	◎					
	③人材育成の推進	・行政栄養士、在宅栄養士などを対象とした研修会（保健所）＊	◎	○				○
		・食生活改善協議会への支援（保健所、町）	◎	◎				○

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定値	現状値	目標値
適正体重を維持している者（肥満：BMI25.0以上、やせ：BMI18.5未満）			
ア 20～60歳代男性の肥満者の割合	42.3%	40.9%	28.0%以下
イ 40～60歳代女性の肥満者の割合	29.9%	25.3%	24.0%以下
ウ 20歳代女性のやせの者の割合	33.3%	32.0%	20.0%以下
適切な量と質の食事をとる者（20歳以上）			
ア 食塩摂取量	10.8g	10.0g	8g以下
イ 野菜の摂取量	288g	272g	350g以上
ウ 果物摂取量100g未満の者の割合	56.6%	61.0%	30.0%以下
エ 脂肪エネルギー比率が25%以上の割合	男性 41.9% 女性 51.3%	男性 46.4% 女性 55.7%	男性 19.7%以下 女性 31.1%以下
朝食をとらない*者の割合（全年代）	男性 11.2% 女性 7.6%	男性 11.6% 女性 7.6%	男性 4.0%以下 女性 2.4%以下
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数	3,724件	3,859件	増加
利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合	76.9%	83.7%	85.0%以上 （目標値を更新）

＊朝食をとらないとは、「食事をしなかった場合」、「錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンクのみの場合」、「菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合」のいずれかの場合

イ 身体活動・運動

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎日常生活における身体活動量の確保や運動習慣の定着化を目指します。	①身体活動量の確保と運動習慣の定着化	・運動教室や、運動に関する講演会等の開催（保健所、町）	◎	◎				
		・ウォーキング及びノルディックウォーキングの普及啓発（保健所、町、団体）＊	◎	◎				◎
		・健康運動に関する取組事例等についての情報提供（保健所）	◎	○				
◎道民が身近なところで運動できる環境整備とその活用促進を図ります。	②環境整備とその活用促進	・すこやかロード事業の登録及び事業の推進（保健所、町、団体）	◎	◎				◎

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定値	現状値	目標値
運動習慣者の割合 （週2回以上30分以上の持続運動で1年以上継続している者）			
ア 20～64歳	男性 30.7% 女性 29.7%	男性 23.4% 女性 19.2%	男性 40.7%以上 女性 39.7%以上
イ 65歳以上	男性 49.2% 女性 42.2%	男性 46.3% 女性 41.9%	男性 59.2%以上 女性 52.2%以上
日常生活における歩数			
ア 20～64歳	男性 7,539歩 女性 6,743歩	男性 7,713歩 女性 6,588歩	男性 9,000歩以上 女性 8,500歩以上
イ（再掲）65歳以上	男性 5,968歩 女性 4,799歩	男性 5,395歩 女性 4,915歩	男性 7,000歩以上 女性 6,000歩以上
すこやかロード登録コース数	76（実68）市町村 131コース	90市町村 181コース	増加

ウ 休養

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎睡眠による休養を十分取れない方を減らします。	①正しい知識の普及啓発	・適切な睡眠や休養に関する普及啓発及び健康教育の推進（保健所、町）	◎	◎	○	○		
		・地域・職域連携推進連絡会（保健所）＊	◎	○			○	○

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
睡眠による休養を十分にとれていない者の割合（20歳以上）	17.8%	20.0%	15.0%以下

工 喫煙

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎喫煙が及ぼす健康への影響について普及啓発を図ります。 ◎未成年者の喫煙をなくします。 ◎妊産婦の喫煙をなくするとともに、女性の喫煙率を低下させます。 ◎たばこをやめたい人に対するサポート体制を充実します。 ◎官公庁、飲食店その他の多くの人が利用する施設において、受動喫煙によるリスクを減らします。	①喫煙習慣の改善及び禁煙支援	・喫煙の健康影響に関する情報提供（保健所、町）＊	◎	◎	○	○	○	
		・たばこをやめたい人に対する相談窓口の充実化及び禁煙支援（保健所、町）＊	◎	◎		○		
		・禁煙対策特別事業の推進（保健所）	◎	○			○	
		・禁煙外来をもつ医療機関の情報提供（保健所、町）	◎	◎		○		
	②未成年の健康教育の推進	・学校と連携した未成年者喫煙防止教室などのたばこ対策事業の推進（保健所、町）	◎	◎	○			
	③妊産婦・女性への保健指導の推進	・妊産婦や女性に対する喫煙が及ぼす健康影響への普及啓発（保健所、町）＊	◎	◎				
	④受動喫煙防止対策の推進	・「おいしい空気の施設推進事業」の登録推進（保健所）	◎					
		・家庭における受動喫煙防止の推進（保健所、町）	◎	◎				

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）平成30年4月～平成35年3月

指標	計画策定時	現状値	目標値
（再掲）成人の喫煙率	24.8%	24.7% 男性 34.6% 女性 16.1%	12.0%以下
喫煙経験のある未成年者の割合			
ア 中学1年生	男子 0.9% 女子 0.6%	男子 0.5% 女子 0.2%	0%
イ 高校3年生	男子 2.9% 女子 1.7%	男子 0.8% 女子 0.5%	0%
（再掲）妊婦の喫煙率	10.1%	6.3%	0%
（再掲）産婦の喫煙率	13.2%	8.4%	0%
日常生活で受動喫煙の機会を有する者の割合	公共施設 15.5% 家庭 13.2% 職場 36.7% 飲食店 44.3%	公共施設 8.9% 家庭 18.4% 職場 25.2% 飲食店 41.7%	行政機関 0% 医療機関 0% 家庭 3.0%以下 職場 受動喫煙のない職場の実現（H32） 飲食店 15.0%以下
おいしい空気の施設登録数	3,067施設	4,935施設	増加

才 飲酒

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎飲酒が及ぼす健康への影響について意識を高めます。 ◎未成年者や妊婦の飲酒を無くします。	①飲酒が健康に及ぼす影響についての普及啓発	・生活習慣病のリスクを高める飲酒についての情報提供及び適正飲酒についての普及啓発（保健所、町）	◎	◎				
	②未成年者や妊婦の飲酒への普及啓発	・未成年者を対象としたアルコールに関する健康教育（保健所、町）	◎	◎	○			
		・健診等を通じた妊産婦への飲酒に関する教育の推進（町）＊		◎				
	③連携体制の充実	・適正飲酒の普及、並びに、アルコール依存症からの回復を支援するためセルフヘルプグループ等の関係機関と共に取り組む（保健所）	◎	○		○		○

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
生活習慣病のリスクを高める量（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上）を飲酒している者の割合（20歳以上）	男性 20.8% 女性 9.6%	男性 18.2% 女性 12.0%	男性 17.7%以下 女性 8.2%以下
飲酒経験のある未成年者の割合（過去1か月）			
ア 中学3年生	男子 5.3% 女子 5.0%	男子 1.3% 女子 1.2%	0%
イ 高校3年生	男子13.4% 女子10.6%	男子 5.1% 女子 5.9%	0%
（再掲）妊婦の飲酒率	4.70%	1.40%	0%

カ 歯・口腔

目標	主な取組		◎主体、○連携、協働					
			保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎すべての道民が、自ら歯・口腔の健康の維持増進に努めるとともに、住み慣れた地域において生涯を通じて必要な歯科保健医療サービスを利用しながら、健康の維持増進ができるよう支援する環境づくりを行うことを基本方針とし、食べる楽しみがいつまでもつづく生活の実現を目指します。	①むし歯予防	・保育所・小学校等におけるフッ化物洗口の推進（保健所）	◎	○	○			
		・幼児期におけるフッ化物利用（フッ化物塗布、フッ化物配合歯磨剤）の普及（町）	○	◎				
		・乳幼児・児童生徒が定期的に歯科健診・保健指導を利用できる機会の確保（町、教育）	○	◎	◎	○		
	②歯周病予防	・成人が歯科健診・保健指導を利用できる機会の確保（保健所）	◎					
		・かかりつけ歯科医における定期的歯科健診と機械的歯面清掃等プロフェッショナルケア（団体）＊						◎
	③高齢者の口腔機能維持増進	・介護予防及び口腔機能向上に関する普及啓発（保健所、町）	◎	◎		○		
		・認知症高齢者等に対する口腔ケア提供体制の整備（保健所）	◎			○		
	④医療サービスの充実	・障がい者歯科医療協力医の確保と歯科医療ネットワークの充実（保健所）	◎			○		

＊再掲

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定時	現状値	目標値
乳幼児・学齢期のむし歯のない者の割合			
ア むし歯のない3歳児の割合	77.8%	82.9%	90.0%以上 （目標値を更新）
イ 12歳児のむし歯数（1人平均むし歯数）	1.8本	1.5本	1.0本以下 （目標値を更新）
口腔機能維持・向上 再掲）60歳代における咀嚼良好者の割合	83.4%	【参考値】＊ 66.8%	80.0%以上 （目標値を更新）
歯の喪失防止 60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合 （55～64歳）	42.1%	48.0%	60.0%以上 （目標値を更新）
過去1年間に歯科健診を受診した者の割合（20歳以上）	22.0%	28.3%	40.0%以上 （目標値を更新）

＊調査方法の変更による参考値

（５）健康寿命の延伸

目標	主な取組	◎主体、○連携、協働					
		保健所	市町村	教育	医療	職域	団体
◎健康寿命の延伸を目指します。	・14領域における事業の推進	◎	○	○	○	○	○

【参考】 ◎北海道健康増進計画 すこやか北海道21（改訂版）の指標

指標	計画策定値	現状値	目標値
健康寿命 （日常生活に制限のない期間）	男性70.03年 女性73.19年	男性71.11年 女性74.39年	増加
平均寿命と健康寿命との差	男性 9.17年 女性12.97年	男性 8.76年 女性11.88年	減少

4 圏域における計画の進行管理

毎年度、計画の取組状況を把握するため、実績調査を行います。

取組状況を踏まえ、必要に応じて行動計画の取組内容を検討する等、計画の進行管理を行います。

5 資料編

- (1) 南檜山圏域における主な取組（平成25年度から平成29年度）
- (2) 市町村別平均余命（平均寿命）・健康な期間の平均（健康寿命）・不健康な期間の平均
- (3) 平成29年度北海道健康増進計画指標調査事業（北海道健康課題見える化事業）報告書
（協会けんぽ・国保《南檜山圏域町別》）
- (4) 生活習慣病の発症予防・重症化予防に対応した北海道の健康課題